

# 県内経済とくらしむき

## 長崎県県民生活部統計課

### 〔1〕おもな動き

【推計人口】 …… 10月

令和元年10月1日の推計人口 1,325,205人

世帯数 561,321世帯

参考：H27.10.1現在国勢調査総人口：1,377,187人、

世帯数：560,720世帯

#### 1 推計人口

令和元年10月1日現在の推計人口は、1,325,205人で、前月(1,325,744)に比べ539人の減少となった。

市部では大村市(106)の1市で増加し、長崎市(259)、佐世保市(136)、平戸市(71)、雲仙市(44)、南島原市(32)、対馬市(32)、西海市(29)、五島市(23)、諫早市(20)、壱岐市(15)、松浦市(13)、島原市(9)の12市で減少した。

郡部では時津町(77)、佐々町(7)、長与町(6)、波佐見町(6)の4町で増加し、新上五島町(25)、東彼杵町(18)、川棚町(10)、小値賀町(5)の4町で減少した。

自然動態は、出生数832人、死亡数1,393人で561人の減少、社会動態は、転入者数3,164人(県内転入を含む)、転出者3,142人(県内転出を含む)で、22人の増加となった。

#### 2 世帯数

令和元年10月1日現在の世帯数は、561,321世帯で前月(561,293)に比べ28世帯の増加となった。

(注)

異動人口推計 = H27国勢調査確定数 + 住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】… 8月

1人当たり現金給与総額 259,951円

対前月比 19.7%減少

対前年同月比 2.1%増加

#### 1 賃金

8月の常用労働者1人当たりの賃金をみると、現金給与総額259,951円で、前月に比べ19.7%減少し、前年同月に比べ2.1%増加した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は245,709円で、前月に比べ0.4%減少し、前年同月に比べ0.9%増加した。

特別給与額は14,242円で、前年同月に比べ、3,310円増加した。

#### 2 労働時間

8月の常用労働者1人当たりの労働時間をみると、総実労働時間は146.4時間で、前月に比べ5.2%減少し、前年同月に比べ、2.8%減少した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は135.5時間で前月に比べ5.9%減少し、前年同月に比べ、3.0%減少した。

所定外労働時間数は10.9時間で、前月に比べ3.7%増加し、前年同月に比べ0.8%増加した。

#### 3 雇用

8月の常用労働者数は227,274人で、前月と同水準で、前年同月に比べ、1.0%増加した。

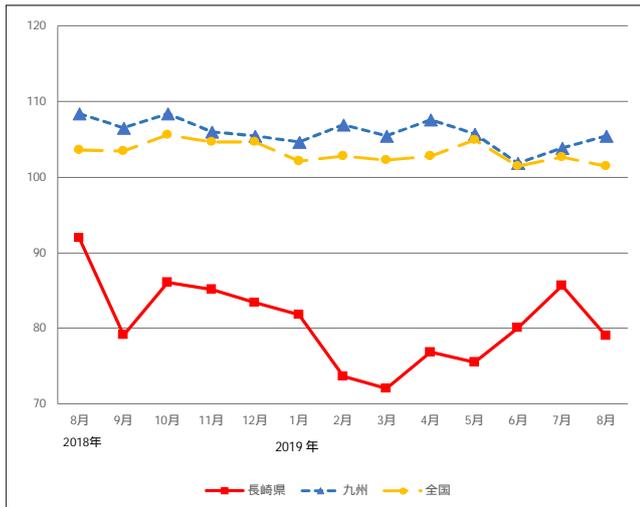
【鉦工業生産指数】…………… 8月

令和元年8月の鉦工業生産指数

(平成27年=100)

| 区分 | 季節調整指数 | 前月比 (%) | 原指数  | 前年同月比 (%) |
|----|--------|---------|------|-----------|
|    |        |         |      |           |
| 九州 | 105.2  | 1.3     | 98.8 | 6.2       |
| 全国 | 101.5  | 1.2     | 93.6 | 4.7       |

鉦工業生産指数の推移【季節調整指数】



令和元年8月の鉦工業生産指数は、季節調整指数が79.0で前月比は7.8%の減、原指数は75.4で対前年同月比は12.7%の減となった。

業種別にみると、電子部品・デバイス工業など4業種が上昇し、はん用・生産用機械工業、窯業・土石製品工業、繊維工業など9業種が低下した。

主な上昇業種

| 業種          | 前月比 (%) | 前年同月比 (%) | 上昇に寄与した主な品目 |
|-------------|---------|-----------|-------------|
| 電子部品・デバイス工業 | 5.3     | 2.8       | 半導体集積回路     |
|             |         |           |             |
|             |         |           |             |

主な低下業種

| 業種          | 前月比 (%) | 前年同月比 (%) | 低下に寄与した主な品目   |
|-------------|---------|-----------|---------------|
| はん用・生産用機械工業 | 47.3    | 54.0      | コンベヤ          |
| 窯業・土石製品工業   | 20.6    | 14.6      | 護岸用コンクリートブロック |
| 繊維工業        | 18.4    | 27.9      | 漁網・陸上綱        |

(注) 前月比は季節調整指数の対前月増減率、前年同月比は原指数の対前年同月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】…………… 9月

総合指数(H27=100) 103.4

対前月比 (%) 0.1

対前年同月比 (%) +0.4

令和元年9月の長崎市の消費者物価総合指数は、平成27年を100として、103.4である。

前月比 0.1%の下落で、主な上昇要因は「被服及び履物」の+4.2%、「食料」の+0.4%であり、主な下落要因は「教養娯楽」の-2.1%、「交通・通信」の-1.1%である。

前年同月比は、令和元年6月は+0.4%、7月は+0.7%、8月は+0.5%と推移した後、9月は0.4%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は103.3であり、前月比は-0.2%、前年同月比は+0.6%であった。

(前月との比較)

上昇した費目

|        |      |
|--------|------|
| 被服及び履物 | 4.2% |
| 食料     | 0.4% |

下落した費目

|         |      |
|---------|------|
| 家具・家事用品 | 0.1% |
| 諸雑費     | 0.1% |
| 光熱・水道   | 0.5% |
| 交通・通信   | 1.1% |
| 教養娯楽    | 2.1% |

【家計(長崎市・勤労者世帯)】…… 9月

消費支出(一世帯当たり) 289,432円

前月比 35,825円減(11.0%減)

令和元年9月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は289,432円で、前月比11.0%の減。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は82.2%であった。

(注)「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。